



日本・カンボジア未来交流プログラム

NPO 法人 ACROSS の招待で来日した 2 名のカンボジア学生が、桜修館 4 年生の家庭にそれぞれホームステイし、学校へ登校しながら桜修館生と交流しました。

- 12 月 21 日 (日) 14:00～15:30 オンライン事前交流会：4 年生有志 7 名が桜修館と日本文化を紹介しました。
- 1 月 15 日 (木) 都内フィールドワーク：6 年生 3 名がカンボジア学生と浅草寺やスカイツリー、渋谷にでかけ、日本の古い文化と新しい文化を紹介しながら、もんじゃ焼きなど日本の食文化と一緒に体験しました。
- 1 月 16 日 (金) 2 時間目 羽子板作り、3～6 時間目 4B、4C、4A、4D の英語 C の授業、放課後 部活動体験：英語の授業の前半はカンボジア学生からの発表を聞き、カンボジアやその文化について学び、和やかな雰囲気の中、Q&A のやりとりをしました。授業の後半では、各クラスの国際係が中心に考えたそれぞれの企画で、日本文化クイズ、伝統遊びのコマ回し体験、クメール語での伝言ゲーム、英語でのフルーツバスケットを一緒に楽しみながら交流しました。また放課後は、茶道部の活動を体験してもらいました。

生徒の感想

〈ホームステイ受け入れ〉

- ・カンボジアの歴史、食文化や言語について話を聞くのが面白かったです。英語でのコミュニケーションは大変な部分もありましたが相手の話をよく聞くことで、こう言いたいときは英語でこう言ったらいいんだ、などの英語を話すことへの新たな気づきもあったと思います。
- ・言語の面ではスムーズにいかないこともありましたが、家にあるものや習慣に驚かれたり、街中の広告から話が広がったり、日本らしさは意外と身の回りに溢れていると感じたことが印象的でした。また、カンボジアについて聞いたり、逆に日本のことを聞かれたり、両国の違いに驚きながら交流できたことが楽しかったです。

〈フィールドワーク〉

- ・フィールドワークの道中、カンボジアについて様々なことを彼女らから聞き、特にカンボジアはモーターバイクが主流でいつも道路が混んでいるということが最も心に残っています。フィールドワーク中は歩くことが多く、最後にはかなり疲れていて母国とのギャップを感じていました。もし逆に自分たちがカンボジアに行った時は、交通渋滞に巻き込まれて疲れてしまうのかなと想像しました。

〈カンボジア学生との授業〉

- ・カンボジアについて詳しく知ることができて非常に楽しかったです。特にクメール文字の母音の多さが印象的で、言語の特徴、日本語との違いを知ることができて面白かったです。
- ・プレゼンテーションを聞いて特に印象深く感じたのは、カンボジアの礼儀作法についてでした。日本にも目上の人に向けての作法はありますが、具体的にどういう人に向けて使うかは決まっていません。さらに 5 段階も挨拶があるというのは興味を引きました。その国のお作法にはお国柄が出るのかもしれない。
- ・カンボジアの学生のお二人は英語力が高いのに分かりやすい英語を使って話してくださって、相手への思いやりを持ったプレゼンテーションが一番伝わるのだなと思いました。